

「暮らし」・「活力」・「環境」を重視する公共交通を軸とした交通体系の実現

～あるべき将来都市像を実現する「バランス」を考慮した都市交通を目指して～

“計画理念”の考え方

札幌市はこれまで、人口が増加すると共に都市の規模を拡大してきました。

しかしながら、経済成長の鈍化、地球環境問題の深刻化など様々な課題に直面しており、特に、近い将来、全国的にもかつて経験したことがない本格的な人口減少・超高齢社会の到来が予測され、札幌市においても同様の予測がされています。

こうした時代潮流の大転換期を迎えるにあたり、地域の特徴的な資源・特性を活かして、人口減少下においても都市機能の持続的発展・成長を目指したまちづくりが求められています。

札幌市総合交通計画においては、将来都市像の実現を交通の面から支えるために、「暮らし」、「活力」、「環境」の3つの視点を重視する中で、「公共交通と自動車」、「整備と活用」、「行政、市民・企業、交通事業者の役割」といった3つのバランスを考慮した都市交通を目指し“計画理念”を設定しました。

3つの視点

- 「地域生活の確保」に寄与する交通を実現するための「暮らし」の視点。

暮らし

- 「都心の活性化」、「観光振興」、「広域連携強化」に寄与する交通を実現するための「活力」の視点。

活力

- 「環境負荷の低減」に寄与する交通を実現するための「環境」の視点。

環境

3つのバランス

- 「公共交通を軸とした交通体系の確立」と「適切な自動車交通の実現」による公共交通と自動車のバランス。
- “つくる”から“活かす”“上手につかう”といった視点の転換に伴う整備と活用のバランス。
- 「公共交通の維持」や「地球温暖化対策」に対する行政、市民・企業、交通事業者の役割のバランス。